

総合診療科 臨床研修カリキュラム

研修責任者 関口 健二

1. 研修科の特色

市立大町総合病院総合診療科を研修の場として、救急・外来・病棟と幅広いセッティングで、Common な疾患の患者を全人的に管理するための幅広い知識と技能の習得を目指す。

将来志向する専門領域にかかわらず、自信を持って診療するための「スタンダードな基礎診療技術」、主担当医として治療・管理に主体的に関わり自律的に診療していくための「主治医としての責任感」、患者のQOLと地域の特性を意識した「全人的アプローチ実践」の習得を目指す。

本研修により、たとえ臓器別専門家となった後も、問題を抱えた患者が目の前に現れたとき、「当科的に問題なし」を超えた、本当の問題解決ができる医師となるための礎作りをすることができる。

2. 研修目標

一般目標 GIO

外来診療・救急診療で出会う頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断をおこない、治療計画、継続診療の計画を立て、それを主担当医として実践することができる。

大病院とは異なる疾患頻度や健康問題に対する診療技術の実践、地域の特性を意識した問題解決アプローチを実践することができる。

行動目標 SBO

(研修期間が4週の場合)

1. 臨床推論に基づく医療面接、診察を実施できる。
2. 列挙した鑑別診断に基づいて、特異度、感度をふまえた検査オーダーを実施できる。
3. 医療面接、診察、検査所見から患者のプロブレムを整理し、各プロブレムのアセスメントができる。
4. アセスメントに応じた診療計画をたて、実践することができる。
5. 患者の narrative をふまえて、検査結果や病態について患者が理解できる説明を行うことができる。
6. カンファレンスで症例提示ができる。
7. 診療録記載を適切にできる。
8. 緊急時基本処置（心肺蘇生、対症療法）を実践できる。
9. 医学的問題のみに囚われることなく患者のQOLを意識した問題解決アプローチを実践できる。
10. チームとして共に学習する医学生を指導できる。

[Advanced (4週以上) の研修の場合追加される項目] ※2年間信州大学にて研修を行う場合のみ

11. 疑問が生じたときに、適切な情報検索から自力で問題解決に取り組み、EBM (Evidenced Based Medicine) を実践できる。
12. 学会や研究会で症例報告ができる (努力目標)。

3. 研修方略

(研修期間が4週の場合)

1. (SB01-10) 市立大町総合病院において、外来・救急・病棟診療を担当する。ただし、信大病院総合診療科での一般外来研修を経験していない研修医は、1週目は信大病院総合診療科での研修とし、2週目以降は市立大町総合病院での研修とする。
2. (SB01-5) 外来診療・救急診療を指導医とともにまたは単独で実践し、指導医からのフィードバックを受ける。

3. (SB03)複数のプロブレムを有する患者において、プロブレムリストを作成し、医学的優先順位の判断、緊急性の判断など病態の整理を行う
4. (SB04)検査・治療計画や、継続的診療の計画、入院診療計画を単独でたて、指導医からのフィードバックを受ける。
5. (SB04, 5, 6)様々な臨床の場でプレゼンテーションを行う。例)患者への病状説明、コンサルテーション依頼作成、指導医への報告・相談、症例検討会にて。
6. (SB07)診療を経て、診療録記載を完結させ、担当指導医の承認を得る。
7. (SB08)救急診療を指導医とともに実践し、緊急時基本処置を習得する。
8. (SB09)多職種カンファレンス、訪問診療、施設診療など、様々なセッティングでの医療・カンファレンスに参加することで、全人的アプローチを習得する。
9. (SB010)同じ診療チームで医学生が実習生として参加している場合、チームの一員としてともに診療を行ない、医学生を指導する。

[Advanced (4 週以上) の研修の場合追加される項目] ※2 年間信州大学にて研修を行う場合のみ

10. 臨床問題解決のために2次情報リソースの使用法を習得し問題解決に利用する。
11. 日本内科学会またはプライマリケア連合学会で症例報告を行う。

4. 週間予定 (例)

	月	火	水	木	金	その他
午前	8:05-8:50 問題症例検討 9:00- 病棟回診	8:05-8:50 症例検討会 9:00- 病棟回診	8:05-8:50 新入院カンファ 9:00-病棟回診 11:30-12:30 教育回診	8:00-8:30 救急対応勉強会 8:30- 病棟回診	8:05-8:50 入院患者振り返り 9:00- 病棟回診	
午後	12:30-13:30 家庭医療勉強会 13:30- 病棟業務	12:30-13:30 ジャンルクラブ 14:30-15:30 教育回診	12:30-13:30 家庭医療勉強会 13:30-14:30 多職種カンファ	12:30-13:30 初期研修コアレ クチャー 13:30- 時間外外来	12:30-13:30 救急対応勉強会 13:30- 病棟業務	
17:15 以降		16:30- 消化器カンファ				

※ (金) 17:30-18:00 研修医クルーズ

5. 評価

研修期間の評価

4 週以上の研修が不足なく行われていること。また、研修医は研修において経験した項目について随時 PG-EPOC に記録する必要がある。

研修中の評価

(形成的評価)

- ・研修開始時に、アンケートおよび個別面談を行ない、研修医の興味関心、キャリアパスを共有することで、研修医に合わせた研修内容に調整する。
- ・診療中、診療後、診療録チェックなど、適宜、フィードバックを行う。

研修後の評価

研修医は、当該研修科の研修期間の最終日までに、PG-EPOC の該当項目について自己評価を行う。自己評価が終了次第、当該科の指導医、指導者（看護師長）にその旨を報告し、評価を依頼する。研修中に経験した疾病、症状について病歴要約を作成・提出し、速やかに指導医へ評価を依頼すること。

(形成的評価)

当該研修科の指導医、指導者は、研修医評価票に記載された評価を用い、フィードバックを行う。

- ・研修医評価票 I に基づく評価
指導医・指導者（看護師長）が、A-1 から A-4 の項目について評価し、印象に残るエピソードを記入する。
- ・研修医評価票 II（1-9）に基づく評価
指導医・指導者（看護師長）が、1～9 の項目について評価する。
- ・研修医評価表 III に基づく評価
指導医、指導者（看護師長）が、C-1 から C-4 の項目について評価し、印象に残るエピソードを記入する。

臨床研修評価表 I～III を基に、責任指導医は臨床研修の目標の達成度判定票を作成し、当該研修期間における目標の達成状況を判定する。

(研修科の総括的评价)

当該研修科を修了とするに不十分であると判断された場合、卒後臨床研修センター長と協議し、再履修とする。

※当科の臨床研修指導医は卒後臨床研修センターWeb サイトにて確認してください。

信州大学医学部附属病院 総合診療科

■住所：〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 ■電話：0263-37-3591(直通) ■FAX：0263-37-3215

■E-mail：soshin@shinshu-u.ac.jp

■U R L：http://www.shinshu-generalmedicine.jp